

尚志館高校
INSPIRE
タイムズ
TIMES

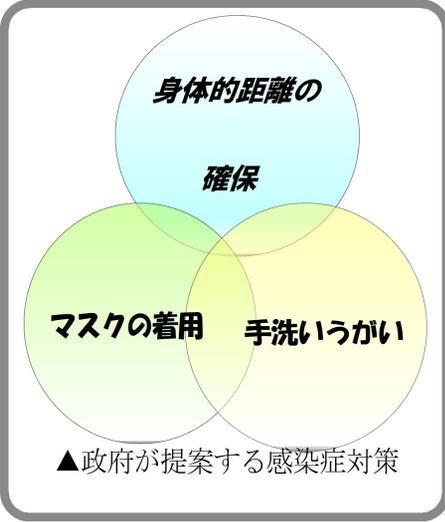
コロナ収束へ向けて

いま、私たちにできること

武漢で2019年11月22日にコロナウイルスが発生してから約半年が経つ。いまだに収束の目途が立つ様子はなく、また日本でも第二波が来ることが懸念されている。今日この頃である。尚志館高校でも今までにコロナウイルス感染症防止のために様々な対策がとられてきた。▼そんな中、多くの家庭で生活様式に変化が求められているのが現状だ。そこで、5月4日に政府が打ち出した感染対策の方針を紹介する。基本的な対策は下図に示した通り。基本的なことであるだけに皆さんにもぜひ徹底してほしい。▼また、その他の細かい対策も紹介していく。

- ・人との間隔はできるだけ2m(最低1m)開ける。
- ・遊びに行くなら屋外で。
- ・会話をするときには可能な限り真正面を避ける。
- ・家に帰ったら顔を洗う。などがある。▼まだまだほかにもたくさんあるが興味のある方はぜひ調べてほしい。▼ぜひ日本国民一丸となってコロナウイルス収束に向けて全力を尽くしていこう。なお、砥谷先生はこのコロナ期間を利用して1日4キロ学校の周りをランニング。ダイエットに成功。今後の動向に注目だ。

は中学校や高校の授業でも習っただろう。▼近年の若者の投票率の低下は日本の大きな問題である。先進国の中でもかなり低いほうである。これを聞いて皆さんはどう思うだろうか。若者たちは自分の国に興味がないのだろうか。それとただ「だるい」というだけで選挙に行っていないだけなのか。いずれにしても選挙権を軽んじていることに変わりはない。▼生徒の中にはすでに選挙権を持っている人もいるだろう。また全員が数年後には全員が選挙権を持つことになる。自分たちの住む町、国をよくするには投票による意思表示が大切である。▼7月12日に鹿児島県知事選挙があることはご存じだろうか。選挙権を持つ県民にとっては知っておくべきである。自分たちの住む町をよくするためにいかにできないかという選択肢はない。各候補者の掲げる目標、公約を読み魅力のある候補者にぜひ投票してもらいたい。



発行元
尚志館高校
発行日
6月19日
文責
平松・大石・中窪

3年生有終の美

メモリアルマッチ2020



●中池陸斗(特進科3年・サッカー部)
「メモリアルマッチ」を区切りの場としてサッカー部を引退しました。自分自身、足のけがやインターハイ中止など悔しい思いをたくさんしましたが、約2年間サッカー部で活動できて本当に良かったです。これからは目標に向けて勉強を頑張ります。残ったサッカー部のみんなも選手権という大きな舞台で有終の美を飾れるよう頑張ってください。



●岡元あいか(商業科3年・硬式テニス部)
硬式テニス部は女子部員2人という少ない人数の中活動していました。突然の活動自粛期間により、練習ができていないまま引退試合を迎えました。自分の持っている力を発揮できるかが不安でしたが、緊張することなく楽しくプレーでき、シングルス・ダブルスで勝利できたことを嬉しく思います。これからは気持ちを切り替え、勉強に力を注いでいきたいと思います。



●堀口翔輝(普通科3年・陸上部)
今まで2年間続けてきた陸上部としての活動に幕を閉じる「メモリアルマッチ」が開かれました。今大会で引退と思っていましたが、結果に満足できなかったので一ヶ月後に開かれる県大会まで競技を続けることにしました。その大会に向け、残り少ない練習期間を充実したものにしていきたいです。それと並行して公務員試験の勉強との両立を図っていききたいと思います。

教育実習生の紹介



●田中 宏樹先生 (宮崎産業経営大学)
●高濱 愛 先生 (志摩館大学)

▼高校時代の思い出
①3年の文化祭で「ラ 修学旅行・クラスマップライブ」を熱演した
▼大学では何を
▼将来への意識込み
▼将来への意識込み
▼将来への意識込み

▼生徒へ一言
▼生徒へ一言
▼生徒へ一言

▼生徒へ一言
▼生徒へ一言
▼生徒へ一言